

同一箇所に複数の応募があった場合のくじの仕組み

例) 応募者が3者あった場合

① 申込書が申込先に到着した順に、「0、1、2・・・」の抽選番号を付与

申込者名	抽選番号
A	0
B	1
C	2

② 「くじ番号」及び「乱数」の和を求め、それぞれの下3桁を合算

※くじ番号：申込書に記載された任意の3桁の数字

※乱数：コンピュータにより自動計算された3桁の数字

申込者名	くじ番号	乱数	計
A	685	758	1443 → 443
B	012	521	533 → 533
C	348	342	690 → 690
			1666

③ 合算額を、応募者数で割り、商と余りを算出

$$1666 \div 3者 = 555 \text{ 余り} 1$$

④ マット設置候補者の決定

余りの数字と抽選番号が一致している者がマット設置候補者

申込者名	抽選番号	設置候補者
A	0	
B	1	○
C	2	

※設置候補者は、設置事業者の選考を経て設置事業者決定通知を受領した後設置者となります